

# 平成29年度特定設備事故届出状況（エレベーター）

番号	事故発生日	事故の分類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	4/5	扉に挟まれた	EV乗車時、閉まってきた扉に前腕部を挟まれた。	事務所	65歳以上	1	右手前腕部内出血	入院不要	注意喚起ステッカー貼り付け。
2	5/22	扉に挟まれた	子どもが一人で乗り込む際に、乗場扉と扉枠に手首を挟まれた。	共同住宅	6～12歳	1	右手打撲	入院不要	今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。（機器不具合による事故ではなく、注意喚起掲示もしているため）
3	7/3	閉じ込め	2階着床位置より約400mm下で停止し、閉じ込められた。	共同住宅	20～64歳	1	熱中症	入院不要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁ブレーキユニット一式交換、正常動作確認。</li> <li>・現場でのスイッチ確認方法を明確化、定期確認。</li> <li>・メーカーによる巡回、動作状態モニタリング。</li> </ul>
4	7/25	扉に衝突又は接触	閉まりかけているEVに乗車しようとし、扉に接触して、その反動で転倒した。	その他	65歳以上	1	頭部打撲	入院不要	今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。（機器不具合による事故ではないため）
5	8/11	その他・不明	利用者は飲酒しており、EV内で急に意識を失い転倒した。	百貨店	65歳以上	1	頭部打撲	不明	今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。（機器不具合による事故ではなく、かご内に転倒防止手摺も設置しているため）
6	8/15	扉に挟まれた	乗車しようとし、閉まりかけた扉に左腕を入れて挟まれた。	複合施設	20～64歳	1	擦り傷	入院不要	扉の閉スピードを調整。
7	8/19	扉に巻き込まれた	保護者に抱かれていた子どもが、扉の開いた際に手を伸ばし、戸袋に引き込まれた。	複合施設	5歳以下	1	指打撲	入院不要	扉に注意警告シールを貼り付け。
8	9/9	扉に巻き込まれた	乗車時、開こうとする扉に触れた子どもが、そのまま戸袋に手を巻き込まれた。	共同住宅	5歳以下	1	右手軽症	入院不要	指詰めを注意喚起するステッカーの貼り付け。
9	9/17	扉に巻き込まれた	扉が開く際、子どもの手が戸袋内に引き込まれ挟まった。	ホテル	6～12歳	1	右手打撲	入院不要	扉の開く際、着信音だけでなく、アナウンスが流れる対策を予定。
10	9/28	扉に巻き込まれた	扉が開く際、子どもの手が戸袋内に引き込まれ挟まった。	ホテル	5歳以下	1	右手打撲	入院不要	扉の開く際、着信音だけでなく、アナウンスが流れる対策を予定。
11	11/3	扉に衝突又は接触	閉まりかけているEVに乗車しようとし、扉に接触して、バランスを崩し転倒した。	マーケット	65歳以上	1	外傷なし	入院不要	1・2階のEV内外のボタン及び正面扉前に、安全に操作・乗降してもらうための案内文を貼り付けた。
12	11/5	機械的トラブルなど	籠床とフロア床に段差が発生し、乗客が降りる際に転倒した。	共同住宅	65歳以上	1	足打撲・骨折	3週間以上の入院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生当日、故障していた「かご位置を検出する装置」を交換。</li> <li>・製造者が保守点検を行う他の同型機についても臨時点検し、部品交換を実施。</li> </ul>
13	1/7	扉に巻き込まれた	降車時に扉に手を当てていた子どもが、開いた扉と収納スペースに吸い込まれる形で、指を挟まれた。	ホテル	5歳以下	1	左手擦過傷	入院不要	籠内扉の開く際に、着信音だけでなく、アナウンスが流れる対策を予定。
14	1/17	閉じ込め	1階より乗車し、5階への行先釦を押したところ、EVが降下し安全装置が動き、停止位置より少し下がった位置で緊急停止、その際に腰を痛めると共に、閉じ込められた。	共同住宅	13～19歳	1	腰痛	入院不要	制御盤内の基盤を一式取り替えた。